【働く】施策の柱13													
①予算事業名	畜産振興事業 予			予算科目		6-1-4	1-1	基本構想上の位置づ		・連携する産業振興			
					11t 1.t-				上段:「島づくり目標」 下段:「施策の柱」		くらしの立つ農業地域づくり		
②担当部課名	産業振興課				業実施 定)年度	H30∼H32		基本計画の該当個所		施策の柱13-3			
③事業内容	育成及行ってまた	なび飼養頭数の増 「いく。 、山羊の優良品種 ☆所得増を図るとと	であり3,000頭弱の肉用牛が飼育されている。しかし高齢化による離農等により飼養頭数が減少傾向にある。後 頁、畜産農家の経営安定化を図る目的で、嘱託獣医委託事業、共済掛け金助成事業、自家保留支援事業など名 の導入と普及により地域ブランド「くめじま山羊」の確立と全町的な肉用山羊生産供給体制を確立し、山羊生産 もに地産地消と山羊食文化の推進を図る。 や催事の際、最も食されてきたのは豚肉である。沖縄独自の食文化を維持するために、優良豚の振興を推進す						業など各事業を 羊生産農家の活				
④実施方法	■直接実施		■委託	■補助	補助 口負担		□その他()				
⑥事業計画	10.7		28年度	度	2	9年度	30年	度	31年度(⁻²	31年度(予定)		32年度(予定)	
	-	(a) 国庫 (b) 周 弗											
	酒	(b) 県費 (c) th 大傷答	10	2000.000		10.700.000		0.5007	200	0 500 000		0.500.000	
	内	(c) 地方債等 (d) 一般財源		7,674,000		10,700,000		8,520,0 19,797,0		8,520,000 19,797,000		· · ·	
		(d)		7,974,000	32,111,000					8,317,000		28,317,000	
		特定財源名	(a)または(b)							•	·分事業	、家畜予防注射	
	年度				実施する具体的な事業の内容							料	
	平成30年度 平成31年度(予定) 平成32年度(予定)			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・沖縄県農業共済組合の獣医の委託及び使用車両の確保 ・畜産農家が共済へ支払う家畜共済金の40%を補助し、共済加入を促進する。 ・優良な繁殖雌牛の自家保留を推進するために、助成を行う。 ・優良な雌牛の飼養技術向上のため、共進会を実施。 ・優良山羊の導入と普及を図るために、山羊農家へ導入費用の補助を行う。 ・優良な繁殖用豚を導入し、沖縄の食文化である豚の増頭及び地産地消を推進する。 ・沖縄県農業共済組合の獣医の委託及び使用車両の確保 ・畜産農家が共済へ支払う家畜共済金の40%を補助し、共済加入を促進する。 ・優良な繁殖雌牛の自家保留を推進するために、助成を行う。 ・優良な戦中の飼養技術向上のため、共進会を実施。 ・優良山羊の導入と普及を図るために、山羊農家へ導入費用の補助を行う。 ・優良な繁殖用豚を導入し、沖縄の食文化である豚の増頭及び地産地消を推進する。 ・沖縄県農業共済組合の獣医の委託及び使用車両の確保 ・畜産農家が共済へ支払う家畜共済金の40%を補助し、共済加入を促進する。 ・優良な繁殖雌牛の自家保留を推進するために、助成を行う。 ・優良な繁殖雌牛の自家保留を推進するために、助成を行う。 ・優良な雌牛の飼養技術向上のため、共進会を実施。 ・優良な雌牛の飼養技術向上のため、共進会を実施。								
					・優良な繁殖用豚を導入し、沖縄の食文化である豚の増頭及び地産地消を推進する。							日搏値	
⑦成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)					(29年度)	30年	- 度	31年度(予定)	32年度	(予定)	(37年度)	
	肉用牛飼養頭数			目	標 () (3000	頭)	(3,000頭)	(3,000	頭)	(3,000頭)	
				実	績								
	山羊飼養頭数			目	標(,) (4505	頁)	(500頭)	(5005	頂)	(500頭)	
				実	績								
	事成業 果効 音産振興を行うことで、農家の経営安定化及び地産地消の推進を図る。 等果												
⑧写真及び図 面													